

2023年度 高津 LCⅡ評価ルーブリック

前期	観点	4 特に秀でた成果	3 優秀な成果	2 一般的な成果	1 不良な成果
研究基礎	① テーマ決定 【知】	テーマを決定するために、班内もしくは同じ科目内で非常に建設的な意見交換を何度も行い、マインドマップ等を使い、多くの可能性を模索した。	テーマを決定するために、班内もしくは同じ科目内で建設的な意見交換を行い、マインドマップ等を使い、多くの可能性を模索した。	テーマを決定するために、班内もしくは同じ科目内で意見交換を行い、マインドマップ等を使い可能性を模索した。	テーマを決定するために、班内もしくは同じ科目内で効果的な意見交換は行われなかった。
	② テーマ学習 【知】	テーマについて、定義を明確にし、関連する事象も含め、多角的な複数の資料を広く深く調査した。	テーマについて、定義を明確にし、関連する事象も含め、複数の資料を広く深く調査した。	テーマについて、定義を明確にし、関連する事象も含め、ある程度調査した。	テーマについて、定義が明確でなく、関連する事象も含め、調査が不足していた。
	③ 課題発見 【知】	テーマの内容をよく理解し、複数の課題を発見したのうち、もっとも重大な課題を発見した。	テーマの内容をよく理解し、複数の課題を発見した。	テーマの内容をよく理解し、課題を発見した。	テーマの内容をよく理解せず、課題を発見できなかった。
	④ 研究倫理 【知】	テーマの学習に使用した資料の全ては、信頼性が高く、全て情報元を記録している。	テーマの学習に使用した資料の多くは、信頼性が高く、全て情報元を記録している。	テーマの学習に使用した資料の多くは、信頼性が高く、ある程度情報元を記録している。	テーマの学習に使用した資料は、信頼性が低く、情報元も記録していない。
調査・研究手法	⑤ 研究テーマ設定 【知】	研究対象をよく理解して、なおかつ高校生の着眼点や発想を超えたオリジナリティのある研究テーマを設定している。	研究対象をよく理解して、なおかつ高校生らしい着眼点や発想でオリジナリティのある研究テーマを設定している。	研究対象をよく理解して、研究テーマを設定している。	研究対象の理解度、または研究テーマの設定の深さが不十分である。
	⑥ 先行事例調査 【知】	先行研究・調査の知見が適切に整理されており、先行研究の課題を明らかにした上で、本研究を極めて的確に位置づけている。	先行研究・調査の知見が適切に整理されており、本研究を的確に位置づけている。	先行研究・調査の知見を整理した上で、本研究を位置づけている。	先行研究・調査にあたっては、量が不足しており、本研究の位置づけが不明確である。
	⑦ 研究手法の設定 【知】	新たな研究・調査方法を導き出そうとするなど、極めて斬新な研究方法を追求しようとしている。	調査・研究対象に対して、先行事例も参考に、最適な調査・研究手法を用いている。	授業で学んだ知識を活用した研究・調査方法を用いている。	研究・調査方法が不適切である。
	⑧ 研究手法の活用 【知】	調査・研究手法の特徴を理解し、組み合わせながら精度の高い結果が得られるように活用している。	調査・研究手法の特徴を理解し、精度の高い結果が得られるように活用している。	調査・研究手法の特徴を理解し、適切に活用している。	調査・研究手法の特徴を理解せずに使用している。
研究ノート	⑨ ノートの活用 【主】	課題研究ノートの管理を適切に行い、記入上の注意を全て守って活用した。また、記入は輪番で回され、全ての活動内容が記載されていた。	課題研究ノートの管理を適切に行い、記入上の注意を全て守って活用した。また、記入は輪番で回され、おおよその活動内容が記載されていた。	課題研究ノートの管理を適切に行い、記入上の注意を守って活用した。また、記入は輪番で回され、おおよその活動内容が記載されていた。	課題研究ノートの管理がずさんで、記入上の注意も守られていない。または、記入は輪番で回されず、多くの活動内容が詳細に記載されなかった。
授業態度	⑩ 授業への取り組み 【主】	授業に非常に前向きに取り組み、特に秀でた積極性があった。また、課題の提出期限等も厳守した。	授業に非常に前向きに取り組み、積極性があった。また、課題の提出期限等も厳守した。	授業に前向きに取り組み、積極性があった。また、課題の提出期限等も厳守した。	授業の取り組みに問題があった。または、課題の提出期限等が守れなかった。

*評価内容に沿う活動がない場合は、0点とする。

*班活動の場合、項目によっては、個別で評価する。

*「観点」内の略称は、観点別評価の各観点を表す。

【知】：「知識及び技能」，【思】：思考力・判断力・表現力等，【主】：主体的に学習に取り組む態度

後期		観点	4 特に秀でた成果	3 優秀な成果	2 一般的な成果	1 不良な成果
調査・研究手法	①	研究手法の設定 【知】	新たな研究・調査方法を導き出そうとするなど、極めて斬新な研究方法を追求しようとしている。	調査・研究対象に対して、先行事例も参考に、最適な調査・研究手法を用いている。	授業で学んだ知識を活用した研究・調査方法を用いている。	研究・調査方法が不適切である。
	②	研究手法の活用 【知】	調査・研究手法の特徴を理解し、組み合わせながら精度の高い結果が得られるように活用している。	調査・研究手法の特徴を理解し、精度の高い結果が得られるように活用している。	調査・研究手法の特徴を理解し、適切に活用している。	調査・研究手法の特徴を理解せずに使用している。
研究展開	③	結果のまとめ方 【思】	収集した資料やデータを解釈・分析するため、複数の適切な図やグラフを作成して組み合わせ、結論を導くために活用した。	収集した資料やデータを解釈・分析するため、適切な図やグラフを作成して、結論を導くために活用した。	収集した資料やデータを解釈・分析するため、図やグラフを作成して、結論を導くために活用した。	収集した資料やデータを十分に解釈・分析しきれず、結論を導きだすために活用していない。
	④	考察の深さ 【思】	調査・実験結果が導かれた要因を分析し、複数の先行事例や他の要因と比較・検討を重ねて新たな課題も発見した。	調査・実験結果が導かれた要因を分析し、先行事例や他の要因との比較などを含めて複数考察した。	調査・実験結果が導かれた要因を分析し、先行事例との比較などを含めて考察した。	調査・実験結果が導かれた要因について考察できなかった。
	⑤	論理的思考 【思】	結論やまとめが複数の根拠に基づいて示されており、論理的に飛躍もなく主張が展開できた。	結論やまとめが根拠に基づいて示されており、論理的に飛躍もなく主張が展開できた。	結論やまとめが根拠に基づいて示されており、論理的に主張が展開できた。	結論やまとめが示されているものの、根拠が不十分である。主張の展開の論理性が弱い。
発表	⑥	発表資料 【思】	フォントや色彩、配置が配慮された見やすい構成で、図やグラフが考察や結果の理解を助け、秀でて聴衆の興味や理解を深めることができた。	見やすい構成で、図やグラフが考察や結果の理解を助け、聴衆の興味や理解を非常に深めることができた。	見やすい構成で、図やグラフが考察や結果の理解を助け、聴衆の興味や理解を深めることができた。	構成が悪く、図やグラフも不適切で聴衆が理解しにくかった。
	⑦	発表態度および質疑応答 【思】	姿勢や視線、声の大きさなど、秀でて聴衆をひきつける工夫があった。また、質疑の趣旨を理解し、簡潔かつ適切な応答ができた。	姿勢や視線、声の大きさなど、聴衆をひきつける工夫があった。また、質疑の趣旨を理解し、適切な応答ができた。	姿勢や視線、声の大きさなど、聴衆をひきつける工夫があった。また、質疑に適切な応答ができた。	単調で聴衆をひきつける工夫がなされなかった。または、質疑の趣旨を理解できず、十分な応答ができなかった。
	⑧	研究要旨 【思】	図やグラフが含まれ、秀でてわかりやすく構成されていた。	図やグラフが含まれ、非常にわかりやすく構成されていた。	図やグラフを活用するなど、わかりやすく構成されていた。	構成が煩雑でわかりにくかった。
研究ノート	⑨	ノートの活用 【主】	課題研究ノートの管理を適切に行い、記入上の注意を全て守って活用した。また、記入は輪番で回され、全ての活動内容が記載されていた。	課題研究ノートの管理を適切に行い、記入上の注意を全て守って活用した。また、記入は輪番で回され、おおよその活動内容が記載されていた。	課題研究ノートの管理を適切に行い、記入上の注意を守って活用した。また、記入は輪番で回され、おおよその活動内容が記載されていた。	課題研究ノートの管理がずさんで、記入上の注意も守られていない。または、記入は輪番で回されず、多くの活動内容が詳細に記載されなかった。
授業態度	⑩	授業への取り組み 【主】	授業に非常に前向きに取り組み、特に秀でて積極性があった。また、課題の提出期限等も厳守した。	授業に非常に前向きに取り組み、積極性があった。また、課題の提出期限等も厳守した。	授業に前向きに取り組み、積極性があった。また、課題の提出期限等も厳守した。	授業の取り組みに問題があった。または、課題の提出期限等が守れなかった。

*評価内容に沿う活動がない場合は、0点とする。

*班活動の場合、項目によっては、個別で評価する。

*「観点」内の略称は、観点別評価の各観点を表す。

【知】：「知識及び技能」，【思】：思考力・判断力・表現力等，【主】：主体的に学習に取り組む態度

中間 発表会	4 特に秀でた成果	3 優秀な成果	2 一般的な成果	1 不良な成果
研究方法 【思】	仮説を検証するにあたって、研究方法が極めて妥当であり、優れた着眼点から研究がなされており、他の研究への応用が期待できる。	仮説を検証するにあたって、研究方法が十分に妥当であり、優れた着眼点から研究がなされている。	仮説を検証するにあたって、研究方法が妥当である。	研究方法が示されているだけであり、仮説の検証には不十分な点が含まれている。
結果・考察 【思】	複数の結果に対して緻密な分析を行い、論理的な考察がなされ、課題に対しての説得力がある。	結果に対しての分析が適切であり、飛躍なく考察がなされており、課題に対しての説得力がある。	結果に対しての分析が適切であり、飛躍なく考察がなされている。	結果に対しての分析が不十分で、考察に飛躍がある。
発表資料 【思】	フォントや色彩が配慮された見やすい構成で、図やグラフなどが理解を助け、聴衆の興味を引き出すことができている。	見やすい構成で、図やグラフが理解を助け、聴衆に伝わりやすい表現の工夫が十分にみられる。	図やグラフが理解を助け、聴衆に伝わりやすい表現の工夫がみられる。	図やグラフの扱いが不十分で、聴衆が理解しにくい表現があり、必要な情報が不足している。
発表全体のわかりやすさ 【思】	発表の内容が非常にわかりやすく、理解ができ、それに伴って有意義な質疑応答が可能となっていた。	発表の内容がわかりやすく、理解ができ、それに伴って質疑応答が可能となっていた。	発表の内容がわかりやすく、理解ができた。	発表の内容に改善点があった。
発表態度 【主】	姿勢や視線、声の大きさなど、秀でて聴衆をひきつける工夫があった。また、質疑の趣旨を理解し、簡潔かつ適切な応答ができた。	姿勢や視線、声の大きさなど、聴衆をひきつける工夫があった。また、質疑の趣旨を理解し、適切な応答ができた。	姿勢や視線、声の大きさなど、聴衆をひきつける工夫があった。また、質疑に適切な応答ができた。	単調で集中させる工夫がなされなかった。または、質疑の趣旨を理解できず、十分な応答ができなかった。

*評価内容に沿う活動がない場合は、0点とする。

*班活動の場合、項目によっては、個別で評価する。

*「観点」内の略称は、観点別評価の各観点を表す。

【知】：「知識及び技能」，【思】：思考力・判断力・表現力等，【主】：主体的に学習に取り組む態度